学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字　結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより２２号
令和５年１０月１７日発行
文責：校長・副校長

令和５年度「すいらん祭」

～無限大　新たな挑戦へ～

１０月１３日（金）待ちに待ったすいらん祭が行われました。本年度のすいらん祭は、例年とは違って、合唱コンクールのみの開催となりました。総合的な学習の時間の発表会は、各学年ごとに行われます。同時期開催による生徒の負担軽減が目的となります。

各学年とも課題曲（１年　Ｍｙ　Ｏｗｎ　Ｒｏａｄ～僕が創る明日～、２年　旅立ちの時、３年　大地讃頌）と各学級が選んだ自由曲の２曲の合唱を披露しました。

各学級の実行委員を中心に、昼休みや放課後の練習に一生懸命に取り組んできました。時にはうまくいかずに悩んだり、時にはみんなで心一つに真剣に練習し、学級の団結力の高まりを感じたり…本番が近づくにつれ、職員室まで響く声に成長を感じながら、当日の歌声を楽しみにしていました。

さて、期待も高まる本番。１年生は、中学校生活初めての合唱コンクール。緊張が見られる中、１年生らしく一生懸命に歌いました。男子は、声変わりも中途半端な時期となり、歌いづらい生徒もいたと思いますが、１年生らしい歌声を披露してくれました。

２年生となると、声量や学級の一体感、強弱や力強さなど、１年間でこんなにも成長するのかと感心させられる歌声でした。それぞれの学級にあった自由曲で、聴きごたえがあり来年の合唱コンクルールでは、さらにどのくらい成長するのだろうと楽しみになりました。

さて、中学校生活最後の３年生の部。練習の時から、さすがは最上級生と思わせる真剣さでした。多くの学校を経験してきたのですが、３年生とはいえ、練習を開始したころは、まじめに練習に取り組めない人がいたり、練習がうまくいかなかったりと学級内でのもめ事もあるのが普通でした。しかし、とっちゅうの３年生は、始めからみんなで一生懸命に取り組んでいて、本当に素晴らしいなと感心しながら練習を見守りました。そのような３年生とあって、本番はどのクラスも甲乙つけがたい合唱で、審査も苦労しました。最終的には、順位がつきましたが、完成された歌声と団結力はどのクラスも最高で、会場中を感動の渦に巻きこみました。

各学級のパート賞、最優秀指揮者賞、金賞・銀賞の発表は以下の通りです。

本当によく頑張りました。参観に来ていただいた保護者や地域の皆様に生徒の頑張る姿を見ていただき本当に良い日となりました。

ありがとうございました！！

【１年生　金賞　１年３組】

【２年生　金賞　２年２組】

【３年生　金賞　３年１組】

金賞・銀賞

	金賞	銀賞
１年	３組	１組
２年	２組	１組
３年	１組	３組

最優秀指揮者賞

	課題曲	自由曲
１年	本多　悠人	熊　一希
２年	岩﨑　優真	入口　蒼大
３年	西村　実詩	高橋　陽太朗

優秀パート賞

	ソプラノ賞	アルト賞	テノール賞	バス賞
１年	４組	３組	１組	
２年	１組	３組	２組	
３年	３組	１組	４組	５組